

被服学教育における学士力(案)

社団法人私立大学情報教育協会
被服学教育 FD/IT 活用研究委員会

1. 被服の歴史・文化や役割を理解し、表現する能力を身につけている。
2. 人体と被服構造・構成の関係を理解し、表現できる。
3. 被服材料の特性を理解し、企画設計、着用評価、維持管理ができる。
4. 被服関連産業を理解し、社会のニーズを把握する方法論を身に付ける。
5. 被服と環境との関わりの重要性を意識し、生活の質の向上に配慮することができる。

被服学教育における学士力(案)説明文付

1. 被服の歴史・文化や役割を理解し、表現する能力を身につけている。

(被服の歴史や文化、被服の社会的、保健衛生的役割を理解し、被服の着用や服飾造形などによるイメージや感性の表現ができる能力)

2. 人体と被服構造・構成の関係を理解し、表現できる。

(着衣基体を理解・把握し、被服構造・構成力を身に付け、被服素材の選択や被服パターン設計に活用できる能力)

3. 被服材料の特性を理解し、企画設計、着用評価、維持管理ができる。

(被服材料の化学的、物理的**基本**特性を理解し、被服のデザイン・制作、着用時の審美性、形態・動作・生理・心理適合性の評価、被服を洗浄・保管できる能力)

4. 被服関連産業を理解し、社会のニーズを把握する方法論を身に付ける。

(繊維、アパレル産業における企画設計、生産、流通の仕組みや周辺領域の産業を理解し、社会ニーズの調査・分析方法を身に付ける。)

5. 被服と環境との関わりの重要性を意識し、生活の質の向上に配慮することができる。

(被服の生産、流通、消費における環境問題を理解し、環境汚染、省資源的ライフスタイルを意識し、生活の質の向上を考えることができる能力。)